

授業科目名・形態	精神障害者の生活支援システム 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	田中 誠	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

本講義では精神障害者への保健的及び福祉援助活動を進めていくうえで不可欠な視点や制度について体系的に理解していく。同時に精神保健福祉領域の知識や技術についての理解を深めること、その基盤となる援助者の基本姿勢・態度を明確にすることも目指す。

【到達目標】

1. 精神障害者の概念を整理し理解する。
2. 精神障害者の自立と社会参加を志向して、地域生活支援システムを構築する。
3. 精神障害者の雇用・就業支援を理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1 回 精神障害者の概念①
- 第 2 回 精神障害者の概念②
- 第 3 回 精神障害者の生活の実際①
- 第 4 回 精神障害者の生活の実際②
- 第 5 回 精神障害者の生活の実際③
- 第 6 回 精神障害者の生活と人権①
- 第 7 回 精神障害者の生活と人権②
- 第 8 回 精神障害の地域生活支援システム①
- 第 9 回 精神障害の地域生活支援システム②
- 第 10 回 精神障害の地域生活支援システム③
- 第 11 回 精神障害者の居住支援①
- 第 12 回 精神障害者の居住支援②
- 第 13 回 精神障害者の就労支援①
- 第 14 回 精神障害者の就労支援②
- 第 15 回 行政における相談

【授業実施方法】

講義形式

【授業準備】

新聞等で福祉に関する記事を読む習慣を身につけること

【主に関連する科目】

精神保健の課題と支援、精神保健福祉制度論

【教科書等】

「精神障害者の生活支援システム」中央法規

【参考文献】

随時、講義中にて紹介

【成績評価方法】

筆記試験 80%、授業態度 20%等を総合して判断する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

40年以上の実務経験で得たあらゆる場面を想定し学生がどのように対応するかを考える機会を提示したい。

【学生へのメッセージ】

本講義は、精神保健福祉士受験資格習得のための指定科目でもある。精神保健福祉士として対人援助の現場で働こうとするならば、その基礎となるものである。現代社会における精神保健福祉士の活躍する分野は専門的であり、その領域は今後さらに拡大する傾向にある。

この分野を志す学生は積極的かつ情熱的に知識の習得をしてほしい。